

富山県土木部

部長 金谷 英明 殿

現場技術者の負担軽減に資する
工事書類スリム化などについての提案



一般社団法人
富山県建設業協会
働き方改革委員会

現場技術者の負担軽減に資する工事書類スリム化などについての提案

我々公共工事を担う建設業は、公共事業を通じて地域社会に大きく貢献しています。

公共工事の現場を預かる現場技術者は、社会資本の整備・維持の最前線において、日々様々に変わる施工環境のなか、技術的な管理はもちろん、確実に円滑な施工や現場運営に全力を尽くしています。

しかしながら、公共工事を進めるうえで作成が必要な書類は、関係先との調整のための書類のほか提示や提出が求められる書類の種類が大変に多く、また内容も多岐にわたっており、現場技術者の業務は多忙を極めています。当委員会が令和5年度に実施した「建設業の雇用実態と経営状況に関する調査」でも、現場技術者の長時間労働が生じる要因を「工事関係書類作成の負担が大きい」と回答した企業は41.1%と最も高い割合を占めています。

ご案内の通り、本年4月からは建設業においても時間外労働に罰則付き上限規制が適用となるなか、建設現場における業務効率化は、持続可能な建設業を実現するうえで、喫緊の課題となっています。

富山県ではこれまで提出を求めていた対象書類の見直しや電子メールによる提出書類の拡大など工事書類の簡素化に取り組んできていただいておりますが、この度、北陸地方整備局の「工事書類スリム化ガイド」を参考として、富山県版を作成し、受発注者双方に周知されると予定とお聞きいたしております。この作成にあたっては、こうした事情を十分にご理解いただき、現場技術者の負担軽減となりますよう、工事書類の削減・簡素化、あわせて工事成績評定の見直しなどについて、是非ともご検討賜りたく、お願い申し上げます。

なお、検討にあたっては、建設業協会との十分な意見交換などを通じて現場技術者の実情をご理解いただき、発注者受注者の相互理解のもとに進めていただきますよう、切にお願い申し上げます。

提案の1

「工事書類スリム化ガイド 富山県版」の策定にあたっては単なるペーパーレス化に留まらぬよう、北陸地方整備局だけではなく、先進的な取り組みを行っている他地域の発注機関の事例も参考にいただき、実効性のある内容を盛り込んでいただくようお願いいたします。

提案の2

更なる工事書類の削減や簡素化、検査時における持参の省略などに取り組んでいただき、受発注者双方の働き方改革に繋がるような工事書類スリム化の推進をお願いします。

提案の3

「工事書類スリム化ガイド 富山県版」の策定後は、その内容が確実に実行されるよう具体例を示すなどして明確化するとともに、職員に周知徹底いただくようお願いいたします。また、「富山県土木工事請負契約に係る主要書類一覧表」に「提示」と記載されている書類について受注者が「提出」を求められることがないように、併せて徹底をお願いします。

提案の4

契約約款に定められている「(条件変更等)における設計図書の訂正又は変更」について、本来発注者において作成すべき設計変更に関する書類は「発注者が行う」事とされており、その遵守をお願いします。

提案の5

200万円以上の全工事が発注者指定となったASP(情報共有システム)については、確実な実施の徹底を行うとともに、必須書類とされた対象書類の紙提出がないようにお願いします。

提案の6

工事成績評価における項目のうち「創意工夫」については、現場技術者にとってその作成等が大変大きな負担となっている現状を踏まえ、評価項目からの削除についてご検討願います。

令和6年9月27日

一般社団法人富山県建設業協会
働き方改革委員会 委員長 高平 公輔